兵庫医科大学病院NEWS

vol.26

2013年6月発行

病院をもっと身近に　あなたとつながる情報誌

学校法人 兵庫医科大学 総務企画部 広報課　西宮市武庫川町 1-1　http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/　代表：0798-45-6111

理念
兵庫医科大学病院は、
安全で質の高い医療を行い、
地域社会へ貢献するとともに、
よき医療人を育成します。

基本方針
・人権を尊重し、患者の立場に立った医療の実践
・人間性豊かな、優れた医療人の育成
・高度で、先進的な医療や医学研究の推進
・健康増進活動による保健・福祉の推進
・地域の医療機関との円滑な連携

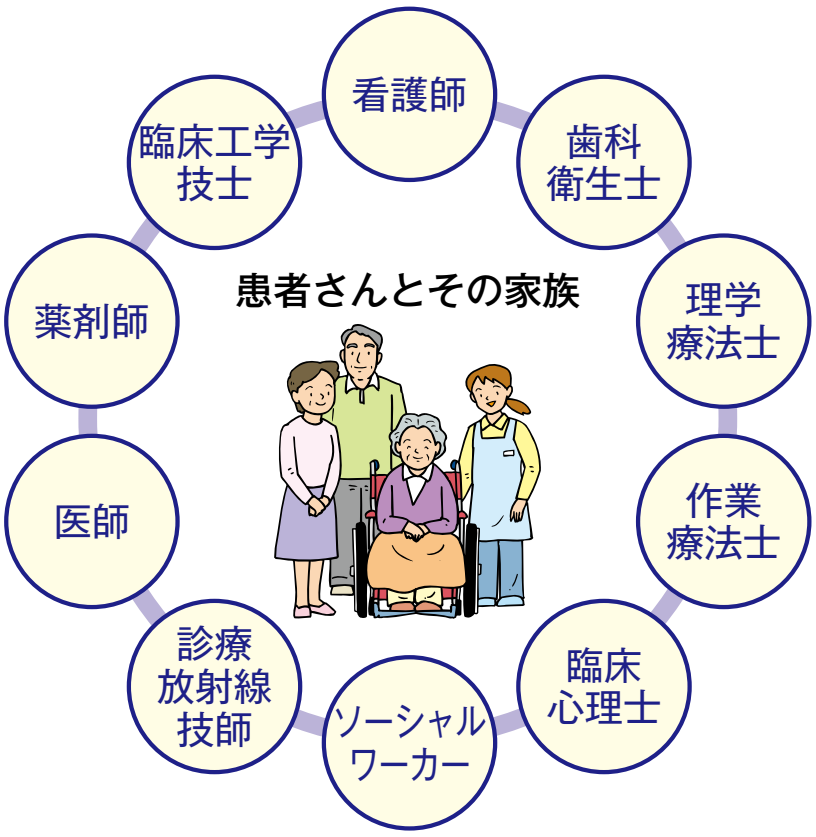
兵庫医科大学病院 チーム医療の取組み

『チーム医療』とは、患者さんやその家族を中心に、医師だけでなく、看護師、薬剤師、理学療法士などの各医療専門職者が一体となり、それぞれの専門性を発揮して相互に連携・協力しながら患者さんに最善の治療・ケアを行うことをいいます。

医学の進歩により医療は高度化・細分化されてきており、また医療に対する社会のニーズも大きく変化してきています。これまでのように、ただ病気を治すということだけではなく、外来通院中や、入院・退院後など療養中の生活の質（ＱＯＬ：クオリティ・オブ・ライフ）の維持・向上を目的とし、医療専門職者がそれぞれの専門性を活かして医療にあたります。病気や感染の予防、様々な検査、薬の調剤、治療後のリハビリテーションも患者さんのＱＯＬを維持・向上するためのチーム医療の1つです。

兵庫医科大学病院でもチーム医療を実践しており「褥瘡（じょくそう）対策チーム」「緩和ケアチーム」「呼吸ケアチーム」「栄養サポートチーム」「感染対策チーム」「精神科リエゾンチーム」の6つのチームが日々の医療を支えています。これらのチームは通常業務以外に、所属部署を越えた活動を行うほか、様々な職種が集まって取り組み、医療の向上を図っています。

今号ではこれらの医療チームの中から「褥瘡対策チーム」「緩和ケアチーム」「呼吸ケアチーム」の3チームを紹介します。



緩和ケアチーム

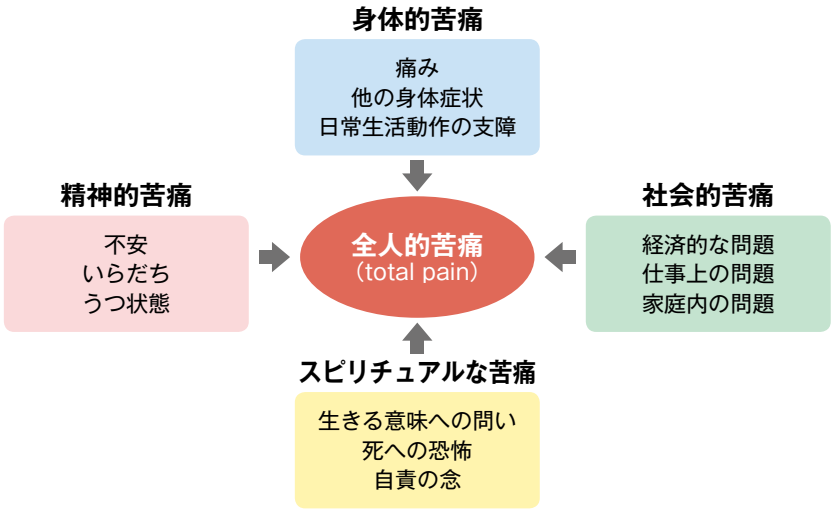
緩和ケアとは？ ～患者さんに寄り添う医療です～

緩和ケアとは、がんと向き合う患者さんの身体や心のつらさを和らげ、社会生活、あるいは患者さん家族まで含め支えていく医療です。痛みなどの身体的症状のみならず、精神心理的、社会的、スピリチュアルな問題を早期に見しケアすることでＱＯＬ（生活の質）の改善を目指します。

兵庫医科大学病院では、ペインクリニック部の医師、精神科神経科医師をはじめ、看護師、薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカー、臨床心理士といった様々な職種の専門家で構成された緩和ケアチームが主治医、病棟スタッフと相談しながら問題の解決に取り組んでいます。

年間200件以上の依頼があり、最多い依頼が痛みで9割近くありま。痛みに対して薬物療法だけでなく経ブロック療法も取り入れていま。そのほか吐き気、おなかのはりや吸の苦しさ、不安、眠れない、気持が落ち込むなど患者さんが経験すつらさに対し、直接病棟に足を運び、状を確認しながら細かく調整してます。週1回のカンファレスを持ちームのメンバーで話し合いながら、者さんの諸症状の治療を行っていす。

また地域の中でのネットワークが重要です。地域の先生方との連携をはかることで、いつでもどこでもその患者さんが最適な緩和ケアが受けられるよう、地域の緩和ケアの啓蒙にも取り組んでいます。



褥瘡（じょくそう）対策チーム

「褥瘡」とは聞きなれない言葉だと思いますが、「床ずれ」のことです。褥瘡は寝たきりの患者さんや車椅子の患者さんに、同じ姿勢でいることにより発生します。原因は、圧迫により血行が悪くなり、体の組織に栄養が行き届かなくなる為です。褥瘡対策チームは、そんな褥瘡を少しでも良くするために活動しています。

メンバーは、医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、事務職で構成されています。医師や看護師は褥瘡の状態をみて、必要な処置を判断しています。病棟看護師は毎日病室にいる患者さんを細かくチェックし、管理しているので、病棟看護師との連携はとても大切なことです。

リハビリスタッフは姿勢の解析・指導のプロフェッショナルであり、日常生活上での指導を行ってくれます。薬剤師は、治療に必要な薬の使い方を説明したり、傷口の状態と使っているが合っているか確認したりしています。事務職は会議において非医療職としての意見を述べます。

私たちは専門知識を共有し合い、色んな角度から検討し合い、治療にあたっています。当院は他の病院や施設などから入院されてくる患者さんも多く、入院された時点ですでに褥瘡のある患者さんもいらっしゃいます。そういった方には退院されるまでに褥瘡を少しでも良くして帰っていただきたいと思っています。病棟回診の際は普段の様子をうかがったり、今後のケアの方法などをお話しさせていただくこともあるかと思いますが、みなさんのご協力をお願いいたします。

呼吸ケアチーム

呼吸ケアチームは、2006年以前から急性・重症患者看護専門看護師が中心となり結成したチームで、現在はICUの西信一部長を中心として活動を行っています。医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、歯科衛生士が1つのチームとなって、人工呼吸器を使用する重症の患者さんや、疾患により呼吸が困難な患者さんなどのケアを行っており、それぞれのパートから最低1名が加わり、週に1度の病棟のラウンドを実施しています。呼吸ケアチームからは、それぞれのパートよりケアの取組みや、取組みに対する思いを紹介します。

看護師パート

いつも大切にしているのは、フィジカルアセスメント(聴診や打診など実際に患者の身体に触れながら、症状の把握や異常の早期発見を行うこと)を適切に行う事です。ラウンドの時に病棟のスタッフとコミュニケーションをとりながら、患者さんにとって有益なケアを提供して行きたいと考えています。

臨床工学技士パート

臨床工学室では入院中の患者さんに少しでも快適に過ごしていただけるよう、新しい機器の選定を行っており、今回はネーザルハイフローという新しい酸素療法の機器をご紹介します。この機械は酸素を患者さんに快適な状態に加温加湿して鼻から吸入できるというのが特徴で、加温加湿することで高流量(供給されるトータルの酸素流量が患者さんの必要としている流量より多いこと)の酸素を流すことができるので、肺に圧をかけることができ、これによる酸素化改善が期待できます。時間を短くすること、②横向きにするときには90度以上傾けること、③状態がよければ早期から座位→立位→歩行と体を起こすことが重要で、患者さんが少しでも早く日常生活に戻れるように離床のサポートなどを行っています。

歯科衛生士パート

歯科衛生士の主な役割は、患者さんの口腔の評価です。気管チューブやバイトブロック(気管に管を挿入する際に口にくわえさせる器具)の存在で、歯垢の磨き残しや潰瘍の存在の確認が困難な場合があります。患者さんの口腔状態の改善につながるよう専門的な視点で評価し、担当看護師にアドバイスを実施します。

理学療法士パート

人工呼吸をしている患者さんは意識が無い方も多いため、理学療法士は褥瘡や肺の障害などを防ぐための体位変換などを実施しています。呼吸ケアにおける体位変換の目的は、痰を移動させ、背中側の肺の拡張を促すことです。そのためには、①できるだけ仰向けの時間を短くすること、②横向きにするときには90度以上傾けること、③状態がよければ早期から座位→立位→歩行と体を起こすことが重要で、患者さんが少しでも早く日常生活に戻れるように離床のサポートなどを行っています。

臨床遺伝部

臨床遺伝部では、遺伝カウンセリングと遺伝学的検査を行っています。スタッフは、臨床遺伝専門医と染色体検査の認定資格をもつ臨床検査技師、認定遺伝カウンセラーの資格をもつ臨床検査技師を中心とし、遺伝性疾患の診療にかかわる各科部長、医師に兼務をお願いしています。当臨床遺伝部は、患者さんに遺伝の情報を提供するための部署として、日本で最初に開設されました。

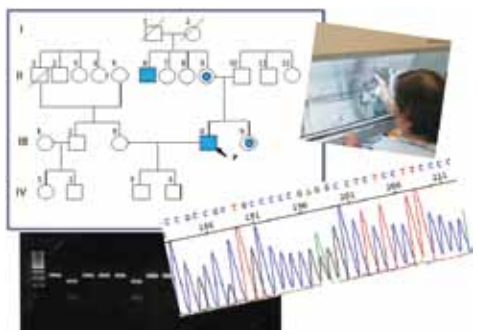
受診や検査は、原則として予約制です。

遺伝カウンセリング

遺伝性の疾患、遺伝子や染色体の変化がかかわる疾患の患者さんやそのご家族、そのような疾患に関して知りたいと思っておられる方など、さまざまなニーズの方々が受診されています。病院の各科から、遺伝や遺伝子・染色体にかかわる検査や説明のために、ご紹介いただくこともあります。遺伝カウンセリングでは、問題の解決や軽減のため、落ち着いた場所でゆっくりお話させて頂いています。受診の際には、まずはご家族のご様子を詳しく教えていただき、家系図を作成します。家系図をもとに、家族で受け継がれる遺伝子や染色体の変化や、検査でどのようなことがわかるのか、などを説明しながら、ご一緒に今後の方針を考えていきます。

遺伝子検査

ヒトのDNA(ゲノム)の全情報が判明してから十年たち、遺伝子の変化が関係することがはっきりした疾患も増えてきました。親から受け継いだ遺伝子の変化でおこる疾患では、患者さんのごきょうだいやお子さんにも、この変化が共有されることがあります。また、遺伝子検査は、一生変えられない情報を調べることでもあります。遺伝子検査を受けていただく場合には、その検査の意味や検査が及ぼす利点・不利益な点について十分にお考えいただく必要がありますので、検査前後の遺伝カウンセリングで意思決定のお手伝いをしています。



染色体検査

遺伝子の入れ物である染色体がかかわる疾患については、Gバンド分析や、特殊な部分を識別するFISH分析を行います。家族に変化が共有される場合と、患者さんだけに変化があり血縁者には同じ変化がない場合があります。後天的な変異の検査判定も当部で行っています。

出生前診断

胎児を対象とした診断は、出生前診断と呼ばれています。(妊婦検診の超音波検査も、実は出生前診断の一つです)遺伝子や染色体がかかわる出生前診断では、羊水や妊婦さんの血液を用います。このような出生前診断は、厳しい倫理審査を経て行われ、検査前には産婦人科外来での遺伝カウンセリングを受けていただきます。2013年5月からは、妊婦さんの血液に混入する胎児DNAを検出する新型出生前診断を開始しました。以上の検査については、臨床遺伝部で検査結果についての判定をしています。

津波避難訓練表彰

■西宮市より津波避難訓練の感謝状が贈呈されました

2013年1月27日、西宮市にて市民を対象とした巨大地震とそれに伴う巨大津波の襲来を想定した訓練が実施されました。

訓練のプログラムの一環として防災講演会が開催され、兵庫医科大学病院救命救急センターの小谷 穣治 センター長が「災害時の救助活動～市民の皆さんのやるべき事」と題して講演を行いました。講演会では、救助隊などが到着するまでに、現場にいる一般市民が救助活動の担い手としてどのような活動を行うべきかを、阪神・淡路大震災や東日本大震災、JR 列車脱線事故での経験を交えて講演され、西宮市より感謝状が贈呈されました。

小谷センター長は、「兵庫医科大学病院は災害拠点病院に指定されており、西宮市から津波避難ビルの指定も受けていますが、大きな災害の際には、病院だけではなく市民の皆さんとも協力して救助を行うことが大切です。急性医療総合センターも開設し、さらに地域の医療に役立っていければと思っています」と話していました。

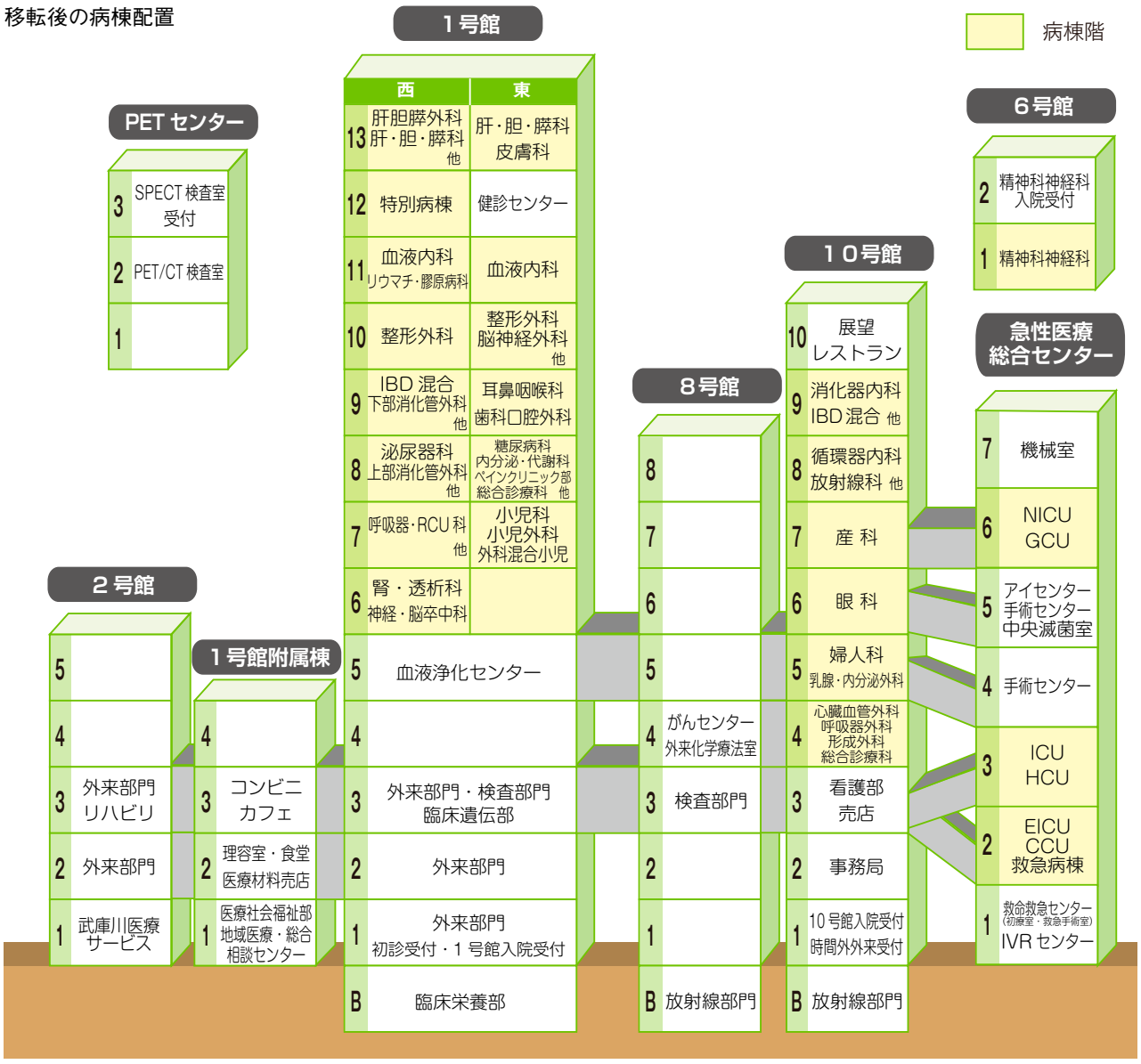
兵庫医科大学病院
救命救急センター
小谷 穣治 センター長

病院移転完了

■病棟の移転が完了しました

急性総合医療センターの開設に伴い病棟の移転を順次行っておりましたが、平成25年4月をもって病棟の移転が完了致しました。患者さんをはじめ、関係者の方々にはご迷惑をおかけ致しました。

移転後の病棟配置



看護の日記念行事

看護の日　ふれあい看護体験

毎年5月12日は、近代看護の祖ナイチンゲールの生誕の日に因み「看護の日」と定められています。この日を含む週を看護週間とし、全国で様々な記念行事が催されます。

本学では、5月14日に「ふれあい看護体験」を開催しました。

「ふれあい看護体験」は、学生や一般の方々に病院の医療現場をよりよく知ってもらうため、見学や簡単な看護体験をする企画です。今年は看護師を志す方が消化器内科の病棟で看護体験をし、配膳作業やシーツ交換などを実際に行いました。看護師体験を終え「何気ないことにも1つ1つ気を使っていて感動しました」「仕事中はキビキビと行動をする一方で、休憩中は楽しげな雰囲気であり、しっかりメリハリのある現場だと感じました」と日常では目にしなかった医療現場への率直な感想を述べていました。また「大変な仕事だと思いますが、改めて看護師を目指したいという気持ちが湧いてきました」と将来の姿に思いを馳せ、目を輝かせていました。

兵庫医科大学病院 特別病棟

より良い療養環境を提供させていただくため、1号館12階に特別病棟を設けています。

病室はすべて個室で、液晶テレビ・DVDプレイヤー・冷蔵庫・電子レンジを配備し、他病棟の病室内ではご遠慮いただいております携帯電話、パソコンがご利用可能です。また、病棟へは専用のカードで出入りいただくよう、セキュリティーも完備しています。

ゆっくりとおくつろぎ頂けるよう、新聞や自動販売機などを備えたデイルームもあり、静かでゆったりとした雰囲気の中で療養いただけます。お部屋やデイルームからは素晴らしい眺望が望めます。

特別室ご希望の方は、担当医師・病棟スタッフにお申し出ください。詳しい設備・環境・見学は1号館1階入院受付までお問い合わせください。

お問い合わせは
0798-45-6175

兵庫医科大学病院 PETセンター

先進的で高度な医療を推進する兵庫医科大学病院に、がんの早期発見や再発・転移などの診断に力を発揮するPET検査は最先端の放射線技術が設立されてから7年目となりました。

PET/CT検査は最先端の放射線技術を結集した検査方法であり、がんの診療に欠かせない検査として発展しています。私たちはこれまで蓄えた豊富な知識と経験を基に、精度が高い新しい検査法・治療法の導入、検査精度の向上、サービスの向上に取り組んでいきます。

特定機能病院として、地域の医療機関や先生方と連携してがん診療の一翼を担い、がんの制圧をめざして悪性腫瘍と闘うすべての人を支えていきます。

ご予約・お問い合わせ先
0120- 6123- 67（フリーダイヤル）
受付時間：月～金　8：30～16：45/ 土　8：30～13：30
（第2・第4土曜日、日曜日、年末年始及び11月22日を除く）

「くすりの話」

漢方薬が効く病気

漢方薬は若い年代から高齢者、男性、女性を問わず幅広く使われています。とくに、更年期障害や月経障害、月経困難など女性の病気に漢方薬は適しています。そのほか肩こりや冷え性、倦怠感、のぼせなど、病気とはいえない症状にも漢方薬の効き目が期待できます。

漢方薬として使われる生薬には、消化を助ける、免疫力を高める、解毒作用、炎症の抑制、発汗や利尿促進といった働きがあり、症状にあわせて組み合わせて使います。

漢方薬は西洋薬に比べ、効き目が緩やかなので即効性には向いていませんが、体の様々なゆがみを正す働きがあるので、女性特有の病気や肩こり冷え性といった症状にも効果があると考えられています。

そのほかに皮膚疾患のアトピー性皮膚炎や蕁麻疹、風邪などにも効果があります。また病気によっては、西洋医学と合わせて使うことで相乗効果が期待できます。

くるみ薬局では、「地域に密着した、信頼と親しみのおける、かかりつけ薬局」を目指しております。
お気軽にご相談ください。

くるみ薬局では、すべての病院・医院の院外処方せんを受け付けております。

住　　所：〒663-8124 兵庫県西宮市小松南町1-17-30
電話番号：0798-46-1155　FAX番号：0798-46-1157
営業時間：月～金曜日 9：00～18：00／土曜日 9：00～14：00
＊処方せん受付は8：30から行っております。
定 休 日：第2、第4土曜日、日曜祝日

Kurumi pharmacy

くるみ薬局 武庫川店

http://www.kurumi-ph.jp

阪神電鉄武庫川駅西口を出て右手すぐにありますので、お気軽にお立ち寄りください。

処方せん受付

NISHI PHARMACY

Nishi Pharmacy 西薬局 武庫川店

✻兵庫医大病院の処方せん受付致します！！

患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。

お知らせ

処方せんを、お受け取りになられた後、1号館1階院外処方せんFAXコーナーより、処方せん用紙をFAXして頂きますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、大変便利です。西薬局にて、無料のFAX送信カードをご用意致しております。
お気軽にお申し付けくださいませ。

✻阪神武庫川駅 西口すぐ！！

西薬局 武庫川店

TEL：0798-43-3232
FAX：0798-43-3233
月 曜～金 曜 9:00～18:00
第1・3・5土曜 9:00～14:00
休 日　第2・4土曜
日曜・祝日
薬局前に P アリ

兵庫医大病院、全国の病院・医院の処方せん、お受けします。

FRONTIER

ワタキューグループ 全国137店舗

ワタキュー薬局 武庫川駅前店

月曜日～金曜日 9：00～18：00
第1・3・5土曜日 9：00～14：00
第2・4土曜日、日曜、祝日はお休みです。

TEL 0798-42-6702　〒663-8131 西宮市武庫川町2番19P-1ビル1階
FAX 0798-42-6703◀無料ファックスカードをご用意してお待ちしております。

あなたの健康サポートします。
笑顔で、ていねいに対応いたします。
各種クレジットカードもご利用いただけます。

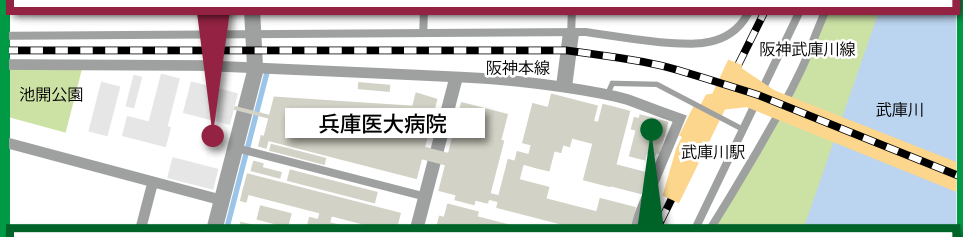
P 阪神武庫川駅西側出口すぐ 駐車スペースあり

処方せん受付

兵庫医科大学病院、全国の医療機関の処方せんを受付けております。

お薬の事など、お気軽にご相談ください。
皆様のご利用をお待ちしております。

武庫川店
［営業時間］月～金 8:30～17:30　第1・3・5土曜 8:30～13:30
［定 休 日］第2・4土、日、祝日
TEL.0798-44-3029　FAX.0798-44-3039



［営業時間］月～金 8:30～17:30
［定 休 日］土、日、祝日
TEL.0798-42-3080　FAX.0798-42-3081

武庫川駅前店

より良い医療サービスの提供がすべてです。

株式会社 阪神調剤薬局

http://www.hanshin-dp.co.jp

わらおう。

誰もがすこやかに、笑顔でいられる毎日を。

健康のこと、お薬のことお気軽にご相談ください

アイセイ薬局 武庫川店

兵庫県西宮市池開町3-20
Tel. 0798-44-3577
Fax. 0798-41-6400

開局時間	月・水・金	8:30～19:00
	火・木	8:30～17:30
	土(第2、4除く)	8:30～13:00
定休日	第2、4土・日・祝	

AISEI
www.aisei.co.jp

兵庫医大病院等、どちらの医療機関の処方せんでも受付いたします

市民健康講座のお知らせ

開催日	テーマ	講演者
7月10日(水)	肝硬変と栄養	内科　肝・胆・膵科　講師 齋藤　正紀
7月24日(水)	採血を受けていただくにあたって	臨床検査技術部　主任技師 藤井　誠治
8月14日(水)	小児内視鏡外科手術の現況 －きずのない手術－	小児外科　教授 奥山　宏臣

（平成25年5月29日現在）

開催場所・時間　10号館3階　第3会議室　15：00～16：30　申込み不要、参加費不要
お問い合わせ先　兵庫医科大学病院　地域医療・総合相談センター　電話番号：0798-45-6035(直通)

病院NEWSのバックナンバーは兵庫医科大学のホームページよりご覧いただけます。
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/hospitalnews.html
または、学校法人兵庫医科大学　病院NEWS で検索してください。